

小学校給食調理業務の民間委託撤回を求める請願書

名古屋市会議長
渡辺 義郎 様

なごやの学校給食をよりよくする会

【 請 願 趣 旨 】

名古屋市は、2016年(平成28年)4月から、中川区の荒子小、緑区の大清水小、名東区の西山小の3校の給食調理業務を民間委託し、さらに2017年4月からは、西区の山田小、守山区の瀬古小・下志段味小、緑区の桶狭間小、天白区为天白小の5校の給食調理業務を民間委託しました。その理由は、調理員の退職によっておこる人員不足を補充しないという名古屋市の方針によるとしています。

私たちは、心身ともに急速に成長する学齢期を豊かな給食・食育で支えることは、教育の重要な役割であると考えています。いま、子どもの貧困という観点からも、全ての児童に栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することは、ますます大切になっています。また、食物アレルギーのある児童が年々増加しています。その対応には細心の注意を払い、教員・栄養教諭(士)・調理員・保護者・子どもが協力してチェックを行い、子どもたちに安全・安心な給食を提供しています。

学校給食は、「学校給食法」により重要な学校教育の一環として位置づけられています。調理業務の民間委託は、名古屋市が責任をもって行うべき教育の役割を、投げ出すことです。

4～5年で競争入札を繰り返して、業者が変わる委託方式では、調理業務のノウハウの蓄積や技術の継承もされず、長期的、継続的に安全・安心でおいしい給食を提供するには限界があります。

私たちは、子どもたちに安全・安心な給食を届け、健やかな心身の成長を保障するため、以下の項目を要請します。

【 請 願 項 目 】

1. 名古屋市立小学校の給食調理業務の民間委託を拡大しないでください。
2. 8つの小学校(荒子小・大清水小・西山小・山田小・瀬古小・下志段味小・桶狭間小・天白小)の給食調理業務の民間委託を、正規職員による直営体制にもどしてください。
3. 技術の継承により、安全・安心でおいしい学校給食をすすめてください。
4. 学校給食を食育の教材として活用し、学校給食を「作る人」と「食べる人」が一体となって食育の教材として活用できる、開かれた学校給食にしてください。
5. 子どものことを第一に考え、給食調理業務を経費削減の対象としないでください。

氏 名	住 所

※この署名用紙は厳重に保管され、集計後議会に提出します。請願以外の目的に個人情報を利用されることは一切ありません。

【取扱団体】なごやの学校給食をよりよくする会 事務局：名古屋市北区柳原三丁目7番8号

☎：052-961-7821

「なごやの学校給食をよりよくする会」は、名古屋市立小学校に通う児童の保護者や、市民団体、学者、研究者、民間労働者や自治体労働者の労働組合、などが参加して作っています。

みんなの力でよりよい小学校給食を！

安全安心でおいしい名古屋の小学校給食はこうして作られています！ ↓

季節や食材に応じて調理を工夫しています。汗をかく夏には塩分を増やし、濃い味の多くなる冬には塩分を控えます。だしは煮干しなどからうまみを引き出します。シチューやカレーのルーは市販の商品を使わず小麦粉から炒めて手作りします。また、子どもたちの食べ残しの量を見て味付けや調理法を改善しています。

アレルギー対応には細心の注意を払い、毎日どの子へどういう対応を行うのか、学校側で除去するのか、子どもが自分で除去するのかなど、教員・栄養教諭(士)・調理員が、二重・三重にチェックしています。その中で調理員は欠かせない役割を果たしています。



技術・経験の継承が困難に

4～5年で競争入札を繰り返して、業者が変わる委託方式では、そのたびに技術や経験、ノウハウがリセットされてしまいます。



安全安心の名古屋市の職員体制を手放さないで！



名古屋市はこの間、調理業務に欠かせない技術の継承や経験の蓄積を、安定的な正規雇用の体制で確保してきました。名古屋市はいま、その体制を手放そうとしています。

給食は学校教育の一環です。民間委託はその責任を投げだすものではありません！

心身ともに急速に成長する学齢期を、豊かな給食・食育で支えることは、学校教育の重要な役割の一つです。民間委託はその責任を投げ出すものではありません。

私たちは小学校給食調理業務の民間委託撤回を求めます